

# 年頭のご挨拶を 申し上げます



玩具人形健康保険組合  
理事長 戸所正敏

昨年3月11日、わが国は東日本大震災、福島第一原発事故など未曾有の災害を経験しました。改めまして、被災された皆様には心よりお見舞い申し上げます。一日も早い復興と、皆様のご健康をお祈り申し上げます。

震災からの一刻も早い復旧・復興や、放射能汚染による様々な問題を一つひとつ解決していくことが、わが国の大きな課題です。

今年は「たつ」年です。より正確には「壬辰」の年で、「みずのえたつ、じんしん」と読みます。「壬辰」には、新しい命が生まれ育つ、という意味があるそうですから、震災後の今年にふさわしい干支といえます。

さて、昨年は、昭和36年に国民皆保険制度が実現して50年目の記念すべき年でした。然しながら、近年、非正規雇用の増大による雇用基盤の変化、医療の高度化による医療費の増加、高齢化と若年人口の減少による人口構成の激変、そして現役世代の負担増、格差の拡大による医療保険制度の財政基盤の弱体化など、以前とは状況が大きく変化しており、その変化に対応するため、また、国民皆保険制度というわが国が世界に誇る素晴らしい仕組みを守るために、現在、社会保障・税一体改革成案等を中心に、様々な見直しを検討されています。具体的には、短時間労働者の適用拡大について、高額療養費制度の見直しと受診時定額負担の導入について、高齢者医療制度における自己負担の見直しについて、介護保険制度見直しにおける総報酬割導入について等です。

当健保組合では、医療保険制度の様々な変化に対応し、被保険者とそのご家族の皆様のご健康と医療を支えるため、全力を挙げて事業に取り組んでまいります。引き続き皆様のご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、被保険者並びにご家族の皆様のお健勝とご多幸をご祈念申し上げ、年頭のご挨拶とさせていただきます。

